

今だからこそ知っておきたい

地震

わせ
☎(85) 1 1 3 0)

地震はなぜ起きるのか



▲日本を囲む4枚のプレート

地球の表面は、十数枚のプレート（地殻）で覆われています。プレートはその下のマントルの動きによって、年に数センチ程度の速度で移動しています。

そのときに、プレートの内部やプレート同士の境界部に大きな力が加わり、そこがずれたときに地震が発生すると考えられています。

日本列島付近は『北米プレート』『太平洋プレート』『ユーラシアプレート』『フィリピン海プレート』の4枚のプレートが接し合っているため、世界でも有数の地震多発地帯となっています。

地震の仕組み

①海側のプレートが、年に数センチの割合で陸側のプレートの方へ移動し、その下へ潜り込む。



②陸側のプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。



③ひずみはその限界に達したとき、陸側のプレートが跳ね上がり、地震が発生する。そのときに津波も発生する可能性がある。



近年日本で起きた主な被害地震		※Mはマグニチュードの略。
平成5年 北海道南西沖地震 最大震度5 (M7.8)	平成16年 新潟県中越地震 最大震度7 (M6.8)	
平成7年 阪神・淡路大震災 最大震度7 (M7.3)	平成19年 能登半島地震 最大震度6強 (M6.9)	
平成12年 鳥取県西部地震 最大震度6強 (M7.3)	平成19年 新潟県中越沖地震 最大震度6強 (M6.8)	
平成13年 芸予地震 最大震度6弱 (M6.7)	平成20年 岩手・宮城内陸地震 最大震度6強 (M7.2)	
平成15年 十勝沖地震 最大震度6弱 (M8.0)	平成23年 東北地方太平洋沖地震 最大震度7 (M9.0)	

今だからこそ知っておきたい
地震・津波